



こずえ 櫓の梢から けやき

～太平洋を越えた交流～

フォートブラッグ市の生徒が6年ぶりに来町

大槌まつりでにぎわい始めた9月21日（土）、姉妹都市のアメリカ合衆国カリフォルニア州フォートブラッグ市から総勢15人の派遣団が来町し、9月28日（土）までの8日間、大槌の中高生や町民と交流しました。

平成9年に開催した「全国豊かな海づくり大会」をきっかけに始まったフォートブラッグ市との姉妹都市生徒間交流事業。コロナ禍による中止期間を経て、6年ぶりの受け入れとなりました。町内滞在中、フォートブラッグ市の生徒たちは、ホームステイによる生活を中心に、町内学校訪問、文化体験などに参加し交流を深めました。



雨の中大槌まつりに参加



安渡公民館でのパーティー



吉祥寺で座禅体験



各家庭で楽しい時間を共有



城山や蓬萊島を観光



フォートブラッグ市の生徒らは最初こそ緊張していたものの、日を追うごとに表情が豊かになり、互いに心を通わせていました。

最後のJamata（じゃあまたね）パーティーには100人を超える参加者が集い、会場は大盛り上がりとなりました。また、フォートブラッグ市の生徒たちからホームステイ先のご家族への感謝のメッセージが伝えられると、会場にいた参加者が涙ぐむ様子も見られました。

同じ時間を共有したことによって言語の壁を越えた友情が育まれ、それぞれが再会を誓い合いました。中にはおじいちゃんの形見の帽子を託された生徒もいました。

フォートブラッグ市の生徒を快く受け入れてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

☎ 学務課 TEL0193-42-6100



18年振りの再会を喜びながら記念撮影



Jamataパーティーの様子

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校HPやnoteでも
学校生活の様子を
発信しています！

1年生たちが自ら考えたテーマを発表！

9月30日（月）、大槌高校1年生が「SIMulation おおつちテーマ発表会」に挑みました。8月から、1年生の総合的な探究の時間で「SIMulation おおつち」という活動に取り組んでいます。「SIMulation おおつち」は、大槌高校生が町の課題を知り、その解決策を構想する活動を通して、社会に対する視野を広げ、課題を解決する力を養うことを目的としています。今年度は、生徒が自ら町に出て地域の皆さんに取材を行うなど大槌の現状への理解を深め、意見を持ち寄り解決したいテーマを設定しました。

今回の発表会では、テーマを設定した背景についてまとめたプレゼンテーションを大槌町議会や大槌町役場の職員に発表し、テーマをさらに掘り下げるためのアドバイスをもらいました。これらを活かし、約半年をかけて、テーマに対する解決策を構想していきます。

当日の様子



生徒が設定したテーマ一覧

- ①大槌町の学習意欲の高い中高生がその意欲を維持・向上するために必要な施策は何か
- ②大槌町の高齢者が本当に求めている福祉サービスとは何か
- ③大槌町の1ターン者を増やすための効果的な施策は何か
- ④大槌町の自然環境に左右されない特産品の開発
- ⑤震災を経験していない世代が担う震災伝承の在り方とは何か
- ⑥災害時の犠牲者を0にするために必要な避難の在り方とは何か
- ⑦大槌町の公民館や集会所を活かした多世代の交流を生むための施策は何か
- ⑧大槌町の若者の地域コミュニティへの参加率を高めるための施策は何か
- ⑨大槌町の野生鳥獣被害を減らすための施策は何か
- ⑩大槌町の手ゴミを減らすための施策は何か

はま留学からのお知らせ

はま留学生の受け入れ先募集中！

県外から大槌高校に入学する、はま留学生の応援サポーター募集中！
詳しく知りたい場合は学務課（TEL0193-42-6100）まで

はま留学生の下宿先募集中！

はま留学生をご自宅で3年間受け入れてくれる家庭を募集しています。生徒たちを応援したい人や、空き部屋がある人はぜひご検討ください。

はま親さん募集中！

はま留学生を地域で温かく支援する取り組みです。お茶っこや地域の活動に誘い、充実した大槌での生活を共に楽しみませんか？ 個人または団体のはま親さんをお待ちしています！

